

△産業宣教 契約を握って挑戦した産業人 (I 列 18:1-15)	△レムナント伝道学 新しい契約を握ったエリヤ (I 列 19:1-8)	△核心 ドタンの町運動 (II 列 6:8-23)	△散らされた弟子たち 散らされた弟子と契約成就 (I 列 19:18)
<p>教会を生かす伝道のやぐらが重職者の皆さんが受ける祝福だ。教会を生かすほどの大きな祝福を受けなければならない。まことの伝道運動、まことの産業、この祝福が始まるのだ。これを置いて祈りなさい。</p> <p>□序論_預言者 100 人を隠したオバデヤ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エリヤの勧告、王の許し、指導者の助けがあったのではなかった 2. 私の産業が教会を生かす伝道のやぐらを作ることが絶対契約だ。 3. オバデヤの産業は完全に教会を生かす産業になった。 <p>それなら、聖書の契約の流れ全体を見よう。重職者が自ら教会を生かすために起きた。重職者が神様が与えられる答えを受ければ、教会に行ってもすべてが変わる。</p> <p>契約を握ったところ働きは神様がなされる。オバデヤは主のしもべがとて重要に見えて、いのちをかけて 100 人を隠したのだ。237 で伝道をするのは、教会を生かすやぐら、主のしもべを生かすやぐら、すなわち聖書にある絶対やぐらを作ることだ。</p> <p>□本論_危機_絶好のチャンス</p> <p>人々ができない理由は、危機を危機として見るためだ。それは絶好のチャンスだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 強い契約_危機より契約がさらに強い。 <ol style="list-style-type: none"> 1) RT 7 が証拠だ。 2) ヘブ 11 章が証明する。 3) 初代教会に証拠が来た。 2. 重職者 1 人が自分の産業を持って挑戦 <ol style="list-style-type: none"> 1) I 列 18:1-15 100 人の預言者を隠した証拠 2) I 列 18:15 王にエリヤのことば(カルメル山の戦闘)を伝えた 3) I 列 18:20 偽りの預言者がみな集まる。ものすごい挑戦 3. 業績(残したこと) <ol style="list-style-type: none"> 1) このオバデヤ重職者の働きは、完全に預言者を保護することだった。 2) 霊的問題を完全に勝利することになるカルメル山の答えに変わるようになる。 3) 本当の答えがホレブ山の祝福だ。このすべての業績がオバデヤを通して出てきた。皆さんひとりが、単に献身するように見えるが、本当に正確な契約を握って献身すると、このようなことに変わる。 <p>□結論_持続</p> <p>だれも認めなくても、契約を握って持続しなさい。このようにして大きな働きが起きるようになる。これが重職者が受けなければならない答えの最初のことだ。</p>	<p>「レムナントを生かす伝道のやぐら」-教会だけ生かすのではなく、レムナントを生かす伝道のやぐらを作らなければならない。</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 7 やぐらの祈りの中にいる重職者 2. RT 重要性を分かる重職者 3. 未来準備の重要性を分かる重職者 <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 苦しいことにだまされてはならない <u>エニシダの木の下</u> <ol style="list-style-type: none"> 1) イゼベル-王の指示を受けなければならないのかって王に指示を与える。明日の今ごろまでにエリヤを殺さなければ、自分が仕える神々が自分を罰せられるようにと言った。 2) 逃避-殺されそうになったので、エリヤが避けて身を守った。 3) 嘆き-逃げて倒れたところがエニシダの木の下だ。そこで嘆いた。 4) 力-神様が主の使いを送って霊的な糧を食べさせて 40 日昼夜を歩くことができる力を与えられた。 2. 新しい契約 <u>始まり</u> <ol style="list-style-type: none"> 1) かすかな細い声-かすかな細い声で神様がアラムの王とイスラエルの王を変えると言われた。 2) エリヤ-エリヤを見つけて油を注ぎなさい 3) 七千弟子-七川弟子、隠されている。エリヤは自分一人だと思ったが違った。 3. RT <u>召命</u> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大きな農業-12 くびきの牛で耕す大きな農業だ。ここでエリヤを呼ばれた。 2) 危機時代-大きな危機時代を分かっても農機具をみな燃やして直ちについて行った。 3) 決断-再び戻ってくる必要がなくなつて行った。レムナント一人の決断は、一つの国、一時代を生かす。 <p>□結論_種</p> <p>これだけしたが、契約の種を植えたのだ。預言者 100 人を保護したのが、全世界を変化させることになるとは知らなかった。</p>	<p>ドタンの町運動する産業のやぐら<u>金土日時代(証人)</u></p> <p>私の産業の場はドタンの町だ。教会を助けて、人を生かすドタンの町運動と金土日時代の証人として行かなければならない。</p> <p>□序論_重職者は金土日時代の土台</p> <p>証人として行くな、証拠がなければならないので、今から一日に一回程度は深く呼吸して祈りもして、霊的力、健康を得なければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1) Trinity 3-一吸い込むとき、三位一体の神様が私に臨むように、息を吐き出すときは、どこかに伝えられるように <ol style="list-style-type: none"> 2) Thrones 9-三位一体の神様と御座の祝福 9 つ 3) 3 Ages -三位一体の神様と 3 時代の力が私に臨むように 4) Universe -空中の権威を持つ支配者を打ちこわす祝福が私に臨むように 5) Authority -上から与えられる権威(力)が私に臨むように 6) CVDIP -神様があらかじめ CVDIP を私に。あらかじめ臨んでこそ証しする。 7) Courtyard -三つの庭が私と私の産業に臨むように 2. 産業-やぐらになること <ol style="list-style-type: none"> 1) 教会を生かすやぐら 2) RT を生かすやぐら 3) 皆さんの産業がドタンの町になって 4) 3 つの庭になる。 3. ドタンの町運動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 次世代が主役 2) 献身-7 千弟子の始まり 3) 経済背景になる人が重職者-光の経済 <p>□本論_祈りの時間に起こることを確認</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エリヤ召命 (I 列 19:19-21) -祈りをしたただけなのに、神様がエリヤを呼ばれる <ol style="list-style-type: none"> 1) 正確な契約-生かす契約 2) 準備されたやぐら-エリヤ 3) 確実な召命-みな燃やしてしまっただけで行った。 2. エリヤの選択 <ol style="list-style-type: none"> 1) 未来の利益(ギルガル、ベテル、エリコ) X 2) 2 倍の霊(先に-やぐら) -2 倍の霊、一番最初に本当のやぐら(私の中のやぐら)を準備 3) 力がエリヤに臨んだ。 3. エリヤのやぐらが立ち始め <ol style="list-style-type: none"> 1) アラム軍隊がドタンの町を困らせた時 2) 神様の軍勢がドタンの町を取り巻いているのだ。信じるように願う。メッセージして祈るとき、礼拝をささげるとき、神様が天の軍勢を送られる。 3) 戦わずに勝利 <p>□結論_光の経済の主役-教会、次世代、宣教</p> <p>教会に最も助けになる重職者は私の考えが必要ない人だ。神様の契約が重要で、神様の祝福は想像できないので、皆さんのために教会が生かされ、次世代が生かされ宣教しなければならない。このことが光の経済だ。まず序論 1 番、やぐらを建てなさい。簡単に成されるようになるだろう。</p>	<p>教会(神殿)建築その中に私の<u>三つの庭</u>がなければならない。(やぐら一つで良い)</p> <p><u>ダビデ時代</u>に三つの庭が命令されていた神殿準備を祝福された。時間が過ぎて三つの庭がなくなってしまった、そのヘロデ神殿は必要がない。それゆえ、<u>イゼベルのやぐら</u>が建ってしまった。</p> <p>□本論_神様は散らされた弟子とともに三つの答えを与えられる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カルメル山運動 <ol style="list-style-type: none"> 1) まことの礼拝対象はだれなのか。 2) 暗闇が何か見せて折る 3) わざわいが何か、どのように解決するのかを見た。 2. ホレブ山運動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 新しい始まりを教えられた。 2) 新しい人物を準備しておいた 3) 七千弟子を隠しておいた。 3. ドタンの町運動は <ol style="list-style-type: none"> 1) レムナント運動だ。 2) レムナント運動を通して集中するようになる訓練が起こらなければならない。このとき、脳とたましいの中に神様のやぐらが建つのだ。 3) 他の力ではできないので、霊的な力を育てるのだ。 <p>今から、はやく始めるのが良い。来年は、世界の人材を呼ぶ年と握った。特にオセアニア州 14 個の国、アフリカの人材を呼んで来る。</p>

△区域メッセージ (第 36 週) 荒野 (Nobody) と 25 の答え (申 6:4-9)	△聖日 1 部礼拝 万有 (すべて) を動かした弟子たち (エペ 4:1-12)	△聖日 2 部礼拝/神殿建築礼拝 死の現場から送られた手紙 (エペ 4:25-32)
<p>私たちが毎週礼拝をささげるが、このみことばが私にみな刻印されるのは大変だ。それゆえ、聖日一日は、みことばを確かに握って祈りに入らなければならない。</p> <p>□序論_40 年</p> <p>1. エジプトに住んで刻印されたこと変えなさい。そうしてこそ、根と体質が変わる。</p> <p>2. 神様がイスラエルの民を 40 年間荒野に置いたのは、カナン入国を準備させること</p> <p>3. 世界福音化準備 そこで世界福音化する内容がみな出てきた。</p> <p>△一番重要なものが「申 6:4-9」だ。「聞け、イスラエルよ。あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい」神様の力のみことばが刻印されれば、必ず根をおろして体質になる。この中で一番重要なものが、いままでであったすべての「傷」を捨てて行きなさいということだ</p> <p>□本論</p> <p>1. 三つの祭り</p> <p>1) 過越祭の羊の血を塗る日に解放</p> <p>2) さらに重要なのは五旬節、神様の力</p> <p>3) 仮庵祭-御座の背景</p> <p>2. 準備</p> <p>1) 実際に世界福音化できる 237 の器を準備させた。</p> <p>2) 荒野で奴隷根性、すべての傷を癒やすべき</p> <p>3) 40 年間いたように見えるが、どこでも生き残るサミットになるべき</p> <p>3. Nobody, Nothing -荒野は何もない。ここで世界福音化する答えを見つけ出すこと</p> <p>1) 独立 荒野 40 年を通過するということは、どこでも生き残る力を育てなさいということだ。</p> <p>2) 荒野の地を見つめるのではなくて、霊的事実を先に見るのだ。</p> <p>3) 本当の答えは他のところにある。逆発想、反対側にある。</p> <p>4) シナジー 私たちの行く所には他の人がみな生かされる。</p> <p>5) 多くの人が困難がくれば逃げるが、私たちは危機側を選択しなければならない。そこに答えがある。</p> <p>6) 無競争 本当に神様の力を持っていれば戦わずに勝つ。</p> <p>7) なぜ荒野でなければならないかということ、私たちに再創造の力が臨む。</p> <p>8) 荒野でサミットになる前に、先に霊的サミットになりなさい。</p> <p>9) 荒地地を選択しなさい。そこで花が咲くようにさせるのだ。</p> <p>10) 絶対の事を見つげ出しなさい。</p> <p>□結論_御座-実像</p> <p>これは御座の背景があるので可能だ。私たちが今日祈りを分けるならば、これは実像になるのだ。すると、必ず私たちの今日の礼拝はものすごい実として出てくる。私たちの行く所に神の国と大きいやぐらを建てるのだ。</p>	<p>※道を見つけないといけない。</p> <p>外国から来た人々、多くの働き人、メッセージを聞く人が道を見つけるようにしなければならない。</p> <p>1. キリストが万物を生かす道を開かれた (8-10 節)</p> <p>2. キリストが与えられた福音の中にある道を見つけるべき (6 節)</p> <p>3. サタンがすること</p> <p>1) 人を滅亡させる-エデンの園、ノアの洪水、バベルの塔事件</p> <p>2) 教会に通うな。偶像で導き</p> <p>3) 教会に行ってもよいから福音を悟るな。</p> <p>4) 福音を悟っても道は見つかるな。</p> <p>□序論_道を見つける前にする三つのこと</p> <p>1. 聖霊の働きが何か質問してこそ、この道を見ることができ-霊的サミット、霊的力が先に</p> <p>1) 平安の絆で結ばれて、聖霊が一致するようにされた (3 節) -聖霊の働きが何かを質問すべき</p> <p>2) すべてを貫く道 (6 節) 3) すべてを満たす道 (10 節)</p> <p>2. 皆さんの中にあるサタンのやぐらを倒しなさい (2 節)</p> <p>1) II コリ 10:4-5 私たちの中のを要塞を打ち破る神様のみことば</p> <p>2) マタ 12:43-45 あなたの中に悪い霊が作った家を倒しなさい。</p> <p>3) エペ 4:27 一番最初にサタンのやぐらを倒しなさい。</p> <p>3. 祈りのやぐら、神様のやぐらを建てなさい</p> <p>1) 三位一体の神様がともにおられるという約束を祈りで味わいなさい</p> <p>2) 御座の力が私に臨むように祈りなさい</p> <p>3) 時代を生かす地の果てまで行く証人になる</p> <p>4) 空中の権威を持つ支配者に勝つ力が私に臨むように祈りなさい</p> <p>5) 上から与えられる権威 (力)、祈りなさい</p> <p>6) 未来があらかじめ見える。これが力だ。</p> <p>7) 三つの庭を私の職業と教会に建てるようになる。</p> <p>□本論_どんな道を行くと言われるのか</p> <p>1. 神様の証の流について行きなさい (1 節)。その証を握った。</p> <p>1) レムナント 7 人 2) 初代教会 3) マルティン・ルター</p> <p>2. 神様の力の流について行きなさい。その力で生かすのだ。</p> <p>1) 御霊による一致 (3 節) 2) すべて之父 (6 節)</p> <p>3) もろもろの天よりも高く登ら上られた方、すべてを満たす方 (10 節)</p> <p>3. 教会の本質、その流について行きなさい</p> <p>1) 教会の本質を逃して崩れたヘロデ神殿-福音、三つの庭 X</p> <p>2) 神様が皆さんに職分を与えられた (11 節)</p> <p>3) 皆さんを立てられた理由 (12 節) -信徒を整えて、奉仕、キリストのからだを建て上げるために</p> <p>□結論_万物を生かすことができる、その道を見つけない。1 人が道を見つければみな生かされる。</p> <p>1. クロスビー 2. アン・サリバン 3. ムーディー</p> <p>※すべての主人であるその方が開かれたその道を私たちが行くのだ。それでこそ世界を生かす。</p>	<p>エペソ人への手紙は監獄から送った手紙だが、いつ死ぬか分からない現場だ。神殿建築を祈って三つの庭の祈りを回復したのだ。それとともに、237、癒やし、サミットを完全に祈りの課題として入れる答えを受け、金土日時代という答えを見つけ出した。</p> <p>神殿建築をして試みにあう教会があるかと思えば、祝福を受ける教会がある。神殿の霊的やぐらから先に私と教会に作りなさい (エペ 4:25-32)</p> <p>□序論_聖霊の人-聖霊が住まわれる神殿</p> <p>1. 神様が必要とされる教会 計算 X-神様と私の条件 (関係) 回復</p> <p>1) 計算した荒野の民 2) 計算したサウル王-ダビデ</p> <p>3) 計算しなかったオバデヤ-神様が私に願われることを握った。</p> <p>4) バビロン時代-計算しなかったダニエル、三人の青年、エステル</p> <p>5) 初代教会-計算したイスカリオテ・ユダ、神様と私との関係、条件を確実な契約として握った弟子</p> <p>2. <u>どんな神殿</u>を願われるのか。私の成就でない (神様の働きを見ること)</p> <p>1) 幕屋、神殿、教会-すべての民が幕屋中心。神殿と三つの庭中心。私たちの共同体は教会、教会は私が属している神様の共同体</p> <p>2) 三つの庭があるべき</p> <p>3) 237、癒やし、サミットの空間があるべき</p> <p>3. <u>どんな信徒</u>を願われるのか-まことの礼拝を願われる神様</p> <p>1) マタ 5:1-12 まことの祝福 2) マタ 6:1-33 まことの祈り</p> <p>3) マタ 7:1-25 まことの礼拝</p> <p>△神様と私の関係を回復する霊的やぐらを先に作らなければならない。</p> <p>□本論</p> <p>1. だまされてはならない-<u>サタンのやぐら</u>を倒しなさい。</p> <p>1) からだの一部 (25) -互いからだの一部となったのだ。皆さんは聖霊の人だ。</p> <p>2) 憤り (27) -悪魔が入り込むことができる所が憤りがある所だ。</p> <p>3) 役立つことば-悪いことばを言ってはならない。</p> <p>△からだの一部分なのに、それが分からない人に、神様に感謝なく憤る所に悪魔が機会を利用する。</p> <p>2. 味わいなさい-<u>神様のやぐら</u>を建てなさい。</p> <p>1) 聖霊内住 (悲しみ) -聖霊が私の中に内住しておられるので、聖霊を悲しませてはならない。</p> <p>2) 証印を押される-神様のものだと印を押されたのだ。</p> <p>3) 教会内の暗闇を打ちこわしなさい。</p> <p>3. 回復しなさい-<u>3つの庭</u>を作りなさい。</p> <p>1) 親切-生存競争の中で苦しんでいる人々が教会に来なければならない</p> <p>2) 優しい心で</p> <p>3) 赦しなさい</p> <p>□結論_答え</p> <p>1. 多民族時代 2. 癒やし時代 (237 に目を開かなければならない)</p> <p>3. サミット時代 (1 年間準備してレムナントを招待)</p> <p>△皆さんの中に、教会に、産業に 7 つのやぐらを建てなさい。祈りで先に建てなさい。そして、私に先に霊的神殿を建てなさい。</p>